

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	160	152	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	0	3	ヘルパンギーナ	19	21
咽頭結膜熱	19	14	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	74	76
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	67	50	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	266	362	流行性角結膜炎 (はやり目)	7	11
水痘	102	150	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	45	17	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	13	21	マイコプラズマ肺炎	0	0
突発性発しん	43	57	クラミジア肺炎	0	0

**報告が多い
感染症**

**感染性胃腸炎
インフルエンザ
水痘**

- 感染性胃腸炎は、報告数266件(前週報告数362件)と減少。
地区別では、山鹿、八代、菊池、宇城に多く報告がみられる。
年齢別では、3歳の36件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- インフルエンザは、報告数160件(前週報告数152件)と微増。
地区別では、天草、人吉、菊池に多く報告がみられる。
年齢別では、10～14歳の60件を最多に、幅広い年齢層からの報告である。
- 水痘は、報告数102件(前週報告数150件)と減少。
地区別では、人吉、宇城、菊池に報告が多くみられる。
年齢別では、2歳の26件を最多に、幅広い年齢層からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性リサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺炎
熊本市保健所	18		11	30	94	29	17	7	15		2	20		6				
山鹿保健所				2	23	1		2	3			14	*	*				
菊池保健所	18		1	14	28	14			7		1	3						
阿蘇保健所	1				1							1	*	*				
御船保健所					7	1							*	*				
八代保健所	8			8	34	10	4		1		1	2						
水俣保健所	2		1		1	1	5		2		4	12	*	*				
人吉保健所	18				14	20	2	2	1			5	*	*				
有明保健所	7			7	16	5	1		7		2	3						
宇城保健所	8		1	3	21	14	7	2	2			10						
天草保健所	80		5	3	27	7	9		5		9	4		1				
計	160	0	19	67	266	102	45	13	43	0	19	74	0	7	0	0	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	160			2	2	3	12	7	11	21	14	10	60	6	4	4	1					2
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	0																					
咽頭結膜熱	19		1	7	1	3	2	2			1	1	1									
A群溶血性リサ球菌咽頭炎	67			2	3	9	3	16	12	7	6	3	4		2							
感染性胃腸炎	266	1	25	35	22	36	32	23	17	13	8	10	25	3	16							
水痘	102	3	13	17	26	15	12	10	2		1	1	1		1							
手足口病	45		3	24	6	5	4	3														
伝染性紅斑	13		1		1	1	1	1	4		2	2										
突発性発しん	43		27	14	1				1													
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	19			4	6	2	2			1	2	1	1									
流行性耳下腺炎	74			4	13	13	12	10	1	7	6	4	4									
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	7	1											1	2	1			1	1			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	0																					
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 流行性耳下腺炎：山鹿・水俣
- 水痘：宇城・人吉

手足口病



今週の報告数は45件で、先週の報告に比べ約3倍に増えていますが(先週の報告数17件)。地域別では、水俣、宇城、天草に多く見られ、年齢別では、1歳の24件を最多に、主に5歳以下の子どもに見られています。例年初夏から夏場に増加する疾患ですので、今後の推移に注意が必要です。手足口病は口の中や手足などに発疹ができる病気です。ほとんどは軽症で数日で治癒しますが、髄膜炎などの合併症を引き起こす場合も稀にあります。通常と違う頭痛や高熱などが起きた場合はすぐに医療機関を受診してください。患者のくしゃみなどからのしぶき、水疱の中身、患者の便にウイルスが存在します。回復しても数週間は、便中にウイルスが排泄されます。排便後などの手洗いの徹底が予防に有効です。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課